

「60才の高校生」

「だれでも訪問教育推進事業」は
「誰もが教育を受ける権利がある」という考えのもと、
平成17年から始まった県の事業です。

のぞみC病棟で今年の春に入学した高校生は 実は・・・
昨年遺暦を迎えたCさんです。

入学式の日、スーツを着て、ネクタイを締めて
(お父さんみたいだったけれど)
先生に車イスを押され、学校へ向かうCさんの
後ろ姿は、ちょっと誇らしげで
いつにも増して笑顔が冴えていました。
「どう？僕も決めるときは決めるんだよ！」
と言っているようでした。



体調が良いときは先生に車イスを押してもらって教室に向かいます。
スタッフが後ろから「行ってらっしゃい」と声をかけると
車イスから出る手がいつも「行ってきます」と言っているようで
癒やされます。

「只今 青春を満喫中！」です。

生まれて
初めての
入学式です！

長期間入院されている患者さんにとって、「少しでも刺激のある生活を」
と考えて看護していますが、もしかしたら逆に元気をもたらしているのは
私達なのかもしれません。これからも患者さんの可能性を広げていけるよう、
支援していきたいと思います。



この夏 病棟のプール開
きに参加しました。

のぞみC病棟
副看護師長 藤沢 春美
〃 関 恵美